

## 平成29年度 事業報告

### 1 総括

平成28年12月に設立30周年を迎え、新たな一步を踏み出した当財団であるが、平成29年度は、公益財団法人制度への移行後5年の節目の年度となった。県民の総合的な健康づくりを推進するため、果たすべき役割をしっかりと認識し、引き続き各種健診・検査事業、普及啓発事業、県からの受託事業等を実施するとともに、着実な事業運営に努めた。

平成29年度の業務の概況であるが、財団の主体事業である健診・検査事業では、県内全域をカバーした健康診断・検査を実施し、生活習慣病等の疾病予防と早期発見、受診率向上を目指し、県民の保健・医療・福祉の向上に努めた。

健診精度の向上を図るために推進してきたエックス線撮影機器のデジタル化については、平成29年度末で胃、胸部のデジタル化が完了した。

普及啓発事業では、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんまを10月7日、8日の両日にわたって開催した。2日間で過去最高となる7,800名の参加があり、まだ5回目の開催であるが、国内有数の大規模な大会となっている。

内部管理体制の強化を図るため、財団の理念、基本方針、職員行動指針を明確に示し徹底を図るとともに、総合的なリスクマネジメント体制を構築し、あわせて医療安全管理指針を策定した。

### 2 重点実施事項

#### (1) 普及啓発事業

##### ① リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま

平成29年10月に、がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧を目指すチャリティーイベントである「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま」を開催した。前回に比べ500名増の7,800名が参加し、がん患者等への支援と、がんに対する意識を高めることができた。平成25年に群馬県でリレー・フォー・ライフを初めて開催し5年が経過したが、参加人数は年々増加し、全国有数の大会となっている。

##### ② がん征圧啓発

群馬県がん患者団体連絡協議会と連携し「ハワイアン in グリーンドーム」等にブースを出展し、「がん征圧キャンペーン」を行った。

また、「がん患者ミーティング」を実施し、がん患者と医療関係者の情報交流を図った。

③ 地域保健研究発表会

平成30年3月、県内地域保健関係者の研究発表の場として、「群馬県地域保健研究発表会」を開催した。関係者128名が参加し、15名の発表者が日頃の研究成果を発表した。

④ あさを賞

平成30年3月、県民の健康増進、疾病予防等に役立つ調査研究9事業に対し、健康づくり研究助成「あさを賞」助成金の交付を決定した。

(2) 健診検査事業

県の方針に基づき、市町村と連携して財団の基盤である各種健(検)診を着実に実施し、受診率向上を目指した。

① 循環器健診

地域健診が個別健診に移行しつつあり減少傾向にある中で、職域健診で入札により新規受託があったことから、財団設立以来初めて、職域健診受診者数が地域健診受診者数を上回った。

② がん検診

「がん検診のための実施指針」の改正、個別健診化の流れの影響から、地域における胃がん検診受診者が10.0%減少した。

また、同指針の改正により、乳がん検診の視触診を廃止した市町村が2市町から6市町村に増加したため、視触診が27.9%の大幅減少となった。

なお、大泉町から乳房超音波検査をモデル的に受託し、同町の40歳以上の女性1,573名に対してマンモグラフィ検査と合わせて実施した。

③ 健康サポート事業

総合的な健康管理を支援する健康サポート事業を5件受託、247名を対象に実施し、一人ひとりの生活習慣の改善を支援するとともに健康管理に対する意識向上を図った。

④ ストレスチェック

結核予防会本部システムを活用したストレスチェックテストを73団体12,809名に実施した。新規企業からの受託もあったが、安価な業者への流出もあり1.1%の微減となった。

⑤ 食品検査

食品表示法の施行による加工食品の栄養成分表示の義務化に伴い、食品メーカーからの栄養成分の分析依頼が増加したことから、食品検査件数が11.0%増加した。

#### ⑥ 市町村との連携強化

地域健診の受診率向上を目指し、市町村との連携強化を図る観点から、平成30年2月に「群馬県健康づくり財団健康セミナー」を開催、外部講師による健康づくり講演と併せて財団の平成30年度事業説明を行った。27市町村から61名の出席があった。

#### (3) 群馬県からの受託事業等

「全国がん登録」事業、不妊相談センター事業、臓器移植推進事業及び群馬県がんピアサポーター派遣事業を受託し実施した。

#### (4) 本部団体関連会議

##### ① 全国よろこびの会総会

日本対がん協会各都道府県支部が事務局を担う「がん患者会」の全国総会を、平成29年6月に伊香保温泉で開催した。全国から75名のがん患者と関係者が集まり、情報交換と親睦を図った。

##### ② 結核予防会関東甲信越支部ブロック会議

平成29年11月に高崎市内で開催した。結核予防会本部と関東甲信越9支部、40名が集まり、14議題について協議を行った。

##### ③ 予防医学事業中央会医師協議会

予防医学事業中央会本部と全国支部の医師と医療技術者が、健診検査に係る諸問題を協議する会議を、平成30年3月に水上温泉で開催した。本部と全国15支部から44名が参加し、活発に意見交換が行われた。

#### (5) 内部管理体制の強化

##### ① 理念、基本方針、職員行動指針の策定

財団設立から30周年が経過し、節目を迎えていることから、改めて財団の果たすべき役割を明確に示すとともに、職員が主体性を持って業務に取り組むよう、財団の理念、基本方針、職員行動指針を策定した。

##### ② 総合的なリスクマネジメント体制の構築及び医療安全管理指針の策定

財団が抱えるリスクを組織的に管理し、安全や信頼性の確保、その他損失等の回避または低減を図るための協議の場としてリスクマネジメント会議を設置し、その下部組織として医療安全委員会、経営リスク管理委員会など合計で7つの委員会を設け、安全性や信頼性の確保等に取り組んだ。

なお、この取り組みの中で、医療事故を防止し、医療安全体制を強化するため、医療安全管理指針を策定した。

### ③ 個人情報保護

健診機関としての社会的責任を認識し個人情報保護に努めるため、平成29年5月に施行された個人情報保護に関する法律の一部改正に対応するとともに、平成27年7月に取得したプライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム：有効期間2年間）の認定の更新を行った。

また、個人情報の取扱・管理の徹底を継続実施し、個人情報保護に万全を期した。

### (6) 職員の資質向上

全職員を対象とした財団内部の研修を実施するとともに、外部団体主催の研修会に職員を積極的に参加させ、職員の知識・技術の向上に努めた。

内部研修 新規採用研修、職種連携研修、メンタルヘルス研修、ハラスメント研修等を開催

外部研修 本部三団体（(公財)結核予防会・(公財)日本対がん協会・(公財)予防医学事業中央会）その他団体が主催する各種専門分野104の研修会に職員（延べ180名）を派遣

### 3 主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
5月14日	乳がん患者会「乳がん検診受診促進 母の日キャンペーン」を開催(けやきウオーク前橋)
6月13日	理事会(理事11名・監事1名出席)
6月15日・16日	「全国よろこびの会総会」を開催(伊香保温泉「ホテル木暮」)
6月27日	評議員会(評議員10名出席)
8月1日	群馬県副知事表敬訪問(複十字シール募金運動協力依頼)
8月11日	ダイヤモンドペガサス協賛試合(がん征圧月間イベント開催、臓器移植啓発ブース出展等)
10月7日・8日	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま」を開催
10月21日	ハワイアンinグリーンドームに出展「がん征圧キャンペーン」を実施
11月3日	ぐんまマラソンに協賛、ブースを出展(正田醤油スタジアム群馬)
11月10日	「結核予防会関東甲信越支部ブロック会議」を開催(ホテルメトロポリタン高崎)
2月17日	「群馬県がん患者ミーティング2018」を開催
3月7日	理事会(理事11名・監事1名出席)
3月9日・10日	「予防医学事業中央会医師協議会」を開催(水上温泉 源泉湯の宿「松乃井」)
3月16日	健康づくり研究助成「あさを賞」選考委員会(9件の助成を決定)
3月19日	「群馬県地域保健研究発表会」を開催(群馬県庁)
3月22日	評議員会(評議員8名出席)

### 4 事業基盤の確立

#### (1) 賛助会員

区 分	会費(1口)	会員数(件)	金額(円)
法人会員	10,000	56	560,000
団体会員	5,000	44	220,000
個人会員	1,000	25	25,000
合 計		125	805,000

### 5 事業実績

#### (1) 普及啓発事業

項 目	活 動 内 容	
週間 月間 行事	結核予防週間 (9/24～30)	キャンペーン(ぐんま男女共同参画センター)、新聞広告掲載、ボールペンマスク等配布、ポスター配布(800部)、パンフレット配布(1,700部)
	がん征圧月間 (9/1～30)	キャンペーン(グリーンドーム前橋、城南野球場)、新聞広告掲載 ポスター配布(1,520部)
	臓器移植普及 推進月間 (10/1～30)	キャンペーン(イオンモールほか4か所)、臓器提供意思表示カード、リーフレット ティッシュ、ハンドタオル、スマートフォンスタンド、マウスパッド、バッジなど配布
募金 活動	複十字シール募金運動	結核予防思想の普及と事業資金確保のための募金(募金額 3,512,102円)
	臓器移植推進募金活動	臓器移植の推進と事業資金確保のための募金(募金額 574,819円)
健康 教育 資料 提供	機関誌等の作成・配布	健やかぐんま16号～19号(各9,000部)、予防医学ジャーナル(378部) 複十字(1,740部)、対がん協会報(3,900部)、健康の輪(360部)
	教育資材の貸出	パネル(4団体)、骨粗鬆症モデル(2団体)、乳がんモデル(5団体) 活力年齢測定器(8団体)、脳年齢測定器(11団体)、血管年齢測定器(14団体) 血管年齢・ストレス測定器(10団体)

## (2) 健診検査事業

## ① 胸部検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
結核検診	地域	105,728	110,739	95.5
	職域	37,680	32,582	115.6
	学校	26,725	27,041	98.8
	計	170,133	170,362	99.9
肺がん検診	地域	118,068	120,534	98.0
	職域	2,272	2,396	94.8
	計	120,340	122,930	97.9
アスベスト検診		644	661	97.4
じん肺検診		203	437	46.5
合計		291,320	294,390	99.0

## ② 循環器健診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
循環器健診	地域	39,890	42,560	93.7
	職域	41,221	39,124	105.4
	計	81,111	81,684	99.3
A B C 検査	地域	2,680	3,343	80.2
合計		83,791	85,027	98.5

## ③ 胃がん検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
胃がん検診	地域	27,679	30,742	90.0
	職域	6,634	6,297	105.4
	合計	34,313	37,039	92.6

## ④ 子宮頸がん検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
子宮頸がん検診	地域	28,845	30,156	95.7
	職域	1,171	1,309	89.5
	合計	30,016	31,465	95.4

## ⑤ 乳がん検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
視触診検診	地域	13,608	18,873	72.1
	職域	615	769	80.0
	計	14,223	19,642	72.4
マンモグラフィ検査	地域	25,103	25,252	99.4
	職域	1,402	1,149	122.0
	計	26,505	26,401	100.4
乳房超音波検査		1,573	92	1709.8
合計		42,301	46,135	91.7

## ⑥ 大腸がん検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
大腸がん検診	地域	27,449	30,984	88.6
	職域	3,791	3,397	111.6
	合計	31,240	34,381	90.9

## ⑦ 前立腺がん検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
前立腺がん検診	地域	16,419	18,658	88.0
	職域	531	87	610.3
	合計	16,950	18,745	90.4

## ⑧ その他健診

## ・保健指導

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
(特定)保健指導	動機付け支援	302	264	114.4
	積極的支援	186	183	101.6
一般保健指導		466	455	102.4
合計		954	902	105.8

## ・健康サポート事業

(単位:件)

区分	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
健康サポート事業	5	-	-

## ・骨密度検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
骨密度検診	地域	3,145	2,362	133.1
	職域	344	44	781.8
	合計	3,489	2,406	145.0

## ・歯周疾患検診

(単位:人)

区分	対象	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
歯周疾患検診	地域	107	84	127.4
歯科検診	職域	861	805	107.0
唾液検査	地域	384	386	99.5
	職域	254	258	98.4
合計		1,606	1,533	104.8

## ・心身の健康づくり事業

(単位:人)

区分	29年度実績	28年度実績	前年比(%)	
心身の健康 づくり事業	個別カウンセリング	12	1	1200.0
	ストレスチェック	12,809	12,949	98.9
	合計	12,821	12,950	99.0

## ⑨ 腸内細菌検査

(単位:件)

区分	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
腸内細菌検査	82,314	82,060	100.3

## ⑩ 病理検査

(単位:件)

区分	内容	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
病理検査	細胞診検査	45,540	47,504	95.9
	組織診検査	7,999	8,926	89.6
	喀痰細胞診検査	5,807	5,932	97.9
	合計	59,346	62,362	95.2

## ⑪ 学校保健検査

(単位:件)

区分	内容	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
学校保健検査	寄生虫検査	1,316	2,268	58.0
	尿検査	120,901	122,376	98.8
	血液検査	1,413	1,574	89.8
	貧血検査	31,029	32,765	94.7
	心臓検診	60,239	60,810	99.1
	小児生活習慣病健診	4,020	3,838	104.7
	合計	218,918	223,631	97.9

## ⑫ 先天性代謝異常検査

(単位:件)

区分	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
先天性代謝異常検査	16,196	16,352	99.0

## ⑬ 食品検査

(単位:件)

区分	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
食品検査	17,977	16,200	111.0

## ⑭ 水質検査

(単位:件)

区分	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
水質検査	19,205	18,474	104.0

## ⑮ 診療所

(単位:人)

区分	内容	29年度実績	28年度実績	前年比(%)
精密検査	胃がん	94	88	106.8
	乳がん・(甲状腺)	294	336	87.5
	大腸がん	41	47	87.2
	その他	1,143	1,228	93.1
	合計	1,572	1,699	92.5
ヘルスチェック	人間ドック	1,885	1,919	98.2
	その他健康診断	14,144	13,423	105.4
	合計	16,029	15,342	104.5

・ がん登録状況(暦年)

(単位:件)

年 度	登録の状況			届出の状況	
	がん登録(罹患)数			届出票の届出数	協力病医院及び診療所数
	(A)+(B)	届出票からの登録数(A)	死亡票からの登録数(B)		
平成6年	6,303	3,106	3,197	2,648	92
平成10年	6,513	3,380	3,133	5,101	79
平成20年	12,111	10,524	1,587	7,738	74
平成21年	12,605	11,823	782	12,265	84
平成22年	13,400	12,636	764	18,016	81
平成23年	13,898	13,286	612	16,951	90
平成24年	14,286	13,829	457	18,340	98
平成25年	14,407	13,960	447	19,213	99
平成26年	14,727	14,345	382	19,797	97
平成27年				20,982	93
平成28年				13,251	80
平成29年				26,559	95
合 計	193,612	141,048	52,564	246,448	1,867

注「登録の状況」は、当年において罹患した者の登録件数

注「届出の状況」は、当年における届出票の受理件数

注 平成6年から実施。平成7年～平成9年、平成11年～19年は記載省略

注「合計」は平成6年から平成29年までの総合計

・ 不妊専門相談

(単位:件)

年 度	相談件数
平成11年	69
平成15年	97
平成20年	162
平成25年	144
平成26年	124
平成27年	144
平成28年	106
平成29年	137
合 計	2,201

注 平成11年から実施。平成12年～14年、平成16年～19年、平成21年～24年は記載省略

注「合計」は平成11年から平成29年までの総合計

・ がんピアサポーター派遣状況

年 度	派遣先(医療機関)数	延べ派遣人数(人)
平成25年(※)	3医療機関	90
平成26年	6医療機関	224
平成27年	8医療機関	261
平成28年	9医療機関	283
平成29年	10医療機関	314
合 計	36医療機関	1,172

※受託期間は半年

注 平成25年から実施

注「合計」は平成25年から平成29年までの総合計